

土壌環境対応

WEBはこちら <http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/env/soil.html>

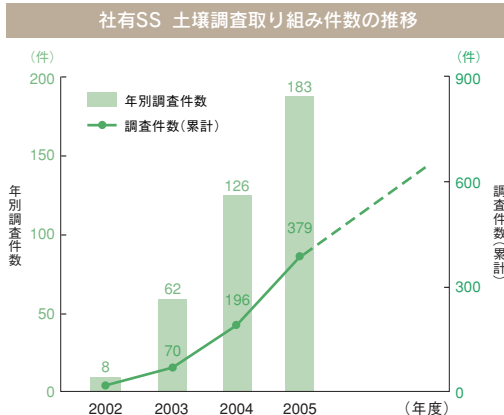
土壌汚染の未然防止と、油分が漏洩した場合の迅速な対応と環境影響の最小化。これら両方の視点から、土壌環境保全を進めています。

取り組みの考え方

コスモ石油グループでは、連結中期環境計画の中で「土壌環境対応」を重点テーマのひとつに位置付けています。2004年8月からコスモ石油安全環境部を主管とし、効率的かつ計画的に取り組んでいます。特にSSなどの土壌汚染による環境へのリスクを低減するために、未然防止措置や万一漏洩した場合の環境への影響の最小化を図っています。

2002年度に系列全SSを対象にSS運営状況に対するヒアリング調査を実施しました。このヒアリング結果に基づき、コスモ石油社有SSは、旧式設備（一重殻タンクなど）を有するSSなど優先順位の高いSSから計画的に土壌調査を行うとともに、特約店に対して、必要に応じた指導を行っています。なお、2005年度は約180件の土壌調査を行い、今後も年間100～140件程度の土壌調査を実施する予定です。2005年度はこれら土壌環境への対応は重要であると考え、他事業所用地も含め、対策に約7億円を費やしています。

▼グラフ4



SS 土壌汚染の早期発見および未然防止

設備面での強化

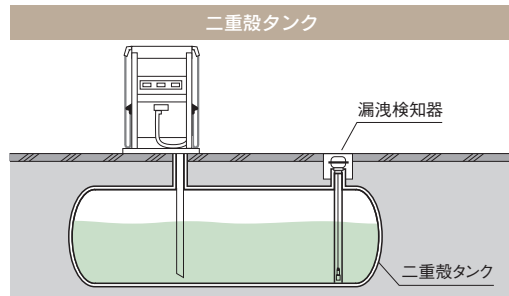
新設のSSには、油漏洩を防止する二重殻タンクや、腐食しない樹脂配管など、漏洩リスクの極めて低い機器・設備の導入を進めています。

既存SSについてもその特性にあわせ、配管材質の更新・強化、電気防食の実施などの設備改善を行っています。

啓発活動

系列全SSの運営者を対象に、土壌環境保全の意識向上を目的として、「SSリスクマネジメント研修」を実施しています。このプログラムの中で、土壌汚染事例の紹介や日常管理方法の再確認を行い、意識の向上を図っています。また、環境管理ポイント調査（P.18参照）により、管理状況を確認しています。

▼図6



COLUMN

閉鎖後のSSへの対応

所有者や運営者の変更により、コスモ石油社有SSを閉鎖する場合は、必ずSS敷地内の土壌調査を実施しています。調査の結果、汚染が確認された場合は、汚染土壌のリサイクル、微生物を活用した環境修復などの適切な土壌改良を行っています。